

問一		工	問二	①	ウ	②	カ	③	ア
問三	A	社会生活		B	技能		C	日常	
	D	論理		E	読書		F	態度	
問四	G	情報		H	根拠		I	古典	
	J	書写		K	行書		L	楷書	

各1点×12 各2点×4

20点

問一	(二)	ぜいじやく	(二)	ひそめる	(三)	あつれき
問二	(二)	善後	(二)	煩繁	(三)	諮問
問三	工	品詞	助詞		問四	(二) イ (三) ウ
問五	(二)	ア	(二)	イ	(三)	ウ
			(三)	ウ	問六	(二) エ (三) ア

各2点×15

30点

問一	㊸	灼熱	㊹	せんぼう	㊺	愚	㊻	卑小	㊼	はいせき
問二	太陽を		観察							
問三	例		近代人は自然科学の知は豊かにもつているが							
	自分をも		入れこんだ世界をイメージする力は							
	弱いから		。							
問四	6		問五	C	宇宙		D	説明		
問六	A	イ	B	エ	E	イ	各3点×6			
問七	例		人間存在の意義は自然科学の知だけでは把握							
	するこ		とがで							
	られた		人間の尊厳等についで改めて考察し、							
	各人の		世界観を構築しなればいけない。							

各4点×2 各2点×5

40点

90点

受験番号

得点

その一

四	問一	㉓	ころもへん	㉔	あなかんむり	問二	㉕	相撲	㉖	壺	㉗	きやしゃ	問三	一	拳	手	一	投	足
	問四	A	イ	B	ウ	C	エ	問五	X	集中	Y	瞳	問七	ア					
	問六(完答)	オ → エ → イ → カ → ウ → ア											問七	ア					
	問八	緊張感のない環境下で子どもを集中させるには「時間がかかる」ことを理解していること からも、吾郎に「待つ力がある」ことがうかがえる。																	
問九	ウ																		

問一・二 各2点×5  
問三 3点

各3点×10  
四

40点

五	問(例)	期待して											問二	ウ	問三	かいもちひ
	問四	きこと起こそうとするだろ。											問五	2点	いらえん	
	問六	エ	問七	(一)	禁	止	(二)	お起こし申し上げるな。					問八	㉔	㉕	㉖
	問九	起こせかし			問十	各2点	A	児	B	僧						
	問十一	ア	問十二	各2点	(一)	イ	(二)	鎌倉	時代							

問五・十・十二 各2点×5  
その他 各3点×10  
五

40点

六	問一	われまさにゆうきんをえんとす											問二	ア	問三	ウ
	問四	周	昨	来	ノ	魚	之	肆	問五	鮎魚	問六	ア				
	問七(完答)	我	且	南	遊	吳	越	之	王	問八	イ	問九	轍	鮎	問十	エ

各3点×10  
六

30点

200点

得点計

110点

得点  
その二

受験号  
受番